

## 論文概要の和文様式

雑誌における論文タイトル:

Study design and participants' profile in the Sub-Cohort Study in the Japan Environment and Children's Study (JECS)

和文タイトル:

子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)における詳細調査の調査デザインと対象者の基本属性

ユニットセンター(UC)等名: コアセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Journal of Epidemiology

年: 2021 DOI: 10.2188/jea.JE20200448

筆頭著者名: 関山牧子

所属 UC 名: コアセンター

目的:

エコチル調査の詳細調査は、全体調査参加者から無作為に抽出された一部を対象として、より詳細に生活環境や健康状態の評価を実施するものです。本論文は、詳細調査の成果発表の基礎的情報を提供するべく、①詳細調査の調査方法を記述すること、②全体調査対象者と詳細調査対象者の基本情報を比較することを目的としました。

方法:

目的①については、詳細調査研究計画書に基づき調査方法を記述しました。目的②については、全体調査対象者の基本情報に関する論文に倣い、詳細調査参加同意時点の対象者の基本情報を全体調査対象者のものと比較しました。具体的には、母親(出産時年齢、喫煙、飲酒、職業、妊娠・出産歴等)、父親(年齢、喫煙、飲酒、職業等)、そして子ども(単胎か、性別、普通分娩か、出生時の体重・身長等)の情報を集計し比較しました。

結果:

目的①について、全体調査対象者 100,148 名より、調査候補者として連絡を受けた 10,302 名のうち、5,017 名が詳細調査に参加しました。また、1.5 歳・3 歳時には訪問調査、2, 4, 6, 8 歳時には発達検査や医学的検査の実施が計画されていることを整理しました。なお 10 歳以降の詳細な計画は検討中です。目的②について、母親・父親・子どもの基本情報は全体調査と詳細調査とで大きな違いはありませんでした。

考察(研究の限界を含める):

ノルウェーやデンマークなどで実施されている大規模な出生コホート調査では、詳細なデータ収集を必要とする調査への参加は、対象者の社会経済的な要因や生活習慣などと関連性があることが報告されています。今回、母親の受動喫煙の割合については、全体調査では 16.8%、詳細調査では 12.9%となっていました。しかしながら、全体調査対象者と詳細調査対象者の基本情報には全体的に大きな違いはなく、エコチル調査の目的である環境と健康の関連性を検証する上で影響するものではないと考えます。

結論:

エコチル調査詳細調査は、参加者の方々のご協力により、現時点でも高い参加率を維持しており、環境と健康の関係を詳細に明らかにするための貴重な調査データを提供するものです。